

〈四国支部〉  
**愛媛四大学が取り組む  
 「インターンシップ・プログラム」  
 について**

二〇〇三年に愛媛県内四大学（愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学）で発足したインターンシップ連絡協議会は、四年目を迎えた今年、インターンシップ研修受け入れ企業八三社、研修体験学生は二八一名を数えるまでに成長している。連絡協議会発足から三年間の経緯は「大学と学生」第二三号に掲載してあるので、今回は年間の活動内容について紹介したい。

【マッチング】

一年間のタイム・スケジュールは表1に記してあるが、まず三月初旬に次年度の「事業計画説明会」を行うことからスタートする。これは、単に本年度の事業報告や次年度事業計画説明だけにとどまらず、インターンシップの普及・啓発に関わる講演会なども行い、多くの企業に参加を呼びかけている。

四月になると、六月に実施される「インターンシップ受け入れプログラム合同説明会」への参加案内と研修生受け

入れの依頼をお願いする文書の発送が行われる。そして六月の初旬に合同説明会が開催される。この合同説明会は学生の事前研修の一環と位置付けられ、学生に職業に関する体験教育の重要性を認識させると共に、研修先を選定するための情報を収集することを目的としている。今年度の合同説明会には、四一の企業と五〇〇名余りの学生が参加している。

合同説明会が終わると、夏休みの研修にむけて、企業の受け入れ可能人数に対する学生の研修希望先企業との調整が各大学で行われる。これは、学生の研修希望先企業に少し偏りが見受けられることと、企業の研修生受け入れ人数に制限があるためである。さらに各大学の希望人数を持ち寄り、四大学インターンシップ連絡協議会において最終の調整が行われ、研修申込書が各企業・団体に送付される。

それを受けて、七月に入ると、企業による受け入れ希望学生の面接が行われ、最終的なインターンシップ研修先が決定する。

表1

3月初旬	インターン・プログラム事業説明会と講演会
4月中旬	合同説明会参加案内の送付と受入れの協力
6月初旬	インターンシップ合同説明会
6月末	インターンシップ研修申込書の提出
7月～8月	企業による研修希望学生面接
8月～9月	インターンシップ研修の実施
10月中	インターンシップ報告会・アンケート調査
11月末	拡大懇談会（意見交換会）

【事前講義】

学生のインターンシップ研修先が決定するまでの間、各大学では並行して、インターンシップを活用するための事前講義が行われる。

この事前講義は、

- (一) ミスマッチがないよう、目的と制度について理解する。
- (二) 自分がどう働くかを考え、自分のキャリア設計のきっかけにする。
- (三) 受身な取組から自発的な取組に視点を変える。
- (四) 社会で必要な最低限のマナーを身につける。

松山大学では、この事前講義が四月から七月までの間に一二講義が行われているので、ここで紹介したい（表2）。

【研修と振り返り】

講義終了後、八月から九月末までの夏休み期間中に、各

表2

	日時	講義テーマ
1	4/18	就職活動とインターンシップ
2	4/25	インターンシップのミスマッチ
3	5/9	自分で調べる「特別講師の企業研究」①
4	5/16	コミュニケーションマナーの基本①
5	5/26	特別講師による講義①
6	5/30	合同面接会シミュレーション
7	6/6	自分でキャッチする「社会の仕組み」
8	6/13	コミュニケーションマナーの基本②
9	6/20	自分で調べる「特別講師の企業研究」②
10	6/27	コミュニケーションマナーの基本③
11	7/4	特別講師による講義②
12	7/11	インターンシップの目的と自己課題
13	7/18	自分次第でインターンシップの成果は変わる

企業・団体においてインターンシップ研修が行われ、今年度は二八一名の学生が研修を体験している。研修終了後に、学生は研修レポートを大学に提出し、大学ごとにインターンシップ報告会を行っている。

また企業側にも個別学生の研修評価票

の提出を依頼し、学生の単位認定の参考にしている。同時に、研修受け入れ担当者へアンケートをお願いし、次年度の事業に反映させている。さらに一二月末には、受け入れ企業・団体と連絡協議会との意見交換会を実施し、綿密な連携を図っている。今年度の意見交換会は単なる意見交換の場にとどめず、パネル・ディスカッションを行い、インターンシップ・プログラムの事例を共有し、地域の教育プログラムの開発力向上を目指し実施している。



愛媛4大学インターンシップ合同説明